

# 動物園をもっと知ろう!



今回の88号では、普段は見逃してしまいそうな、動物舎の工夫について、4ページにわたり紹介します。読めばきっと、動物園を違った視点から見ることができ、より楽しく学んでいただけたと思います!!



## 特集1 猛獣舎リニューアル!!

## - 新しい猛獣舎のできるまで -



熱帯動物館は昭和41年、円山動物園の冬期開園に合わせて作られましたが、できてから、相当古くなったため今回、一部を新しくすることにしました。

新運動場の床は、コンクリートから土に変え、外檻の高さも4.5mにすることで、猛獣たちが動ける空間を広げました。



今までの外檻



運動場に入れるため職員で60本もの木の皮をむきました。



クレーンを使って、8つの運動場全てに、丸太をやぐら状に組みベッドを取り付けました。

### いろんな動物たちの表情



ペルシャヒョウは一番早く、ベッドを気に入りました。



猛獣の多くは日中木陰で休む習性があるので、ベッドの下でも休めるようにしました。



青草の種も植えました。(写真はジャガー)



エサを待ちきれず、木をかじってしまうことも。

今回、新しくしたことで、よりいきいきとした猛獣たちの表情を見れるようになりました。

